

第 55 回東南アジア漁業開発センター（SEAFDEC）理事会の結果について

主な内容

○ IUU 漁業対策

- ・ IUU 漁業対策（地域漁船登録、寄港国措置協定、ASEAN 電子漁獲証明制度）に関して、2022 年の SEAFDEC のイニシアティブによる ASEAN 地域の IUU 漁業対策の活動進捗の報告が行われた。
- ・ メンバー国からは、支持が表明されるとともに SEAFDEC に対し、今後の FAO の転載ガイドラインの国内実施に対する支援等の更なる IUU 漁業対策についての要請や提案があった。

○ ワシントン条約（CITES）

- ・ 昨年 11 月に開催された第 19 回 CITES 締約国会議 (CoP19) に関して、結果及び活動の報告が行われた。
- ・ 我が国からは、CoP19 における SEAFDEC 及びそのメンバー国の協力に感謝を述べるとともに、サメ類を含むいくつかの種が附属書に掲載されたが、このような類似規程（look-alike provision）を用いた科学的根拠に基づかない附属書掲載に対して懸念を述べた。さらに、今後も動向を注視しつつ科学的根拠に基づく持続的利用に向けて SEAFDEC メンバー国と協力したい旨を述べた。
- ・ 他のメンバー国からは、メンバー国の共通の立場を構築するために SEAFDEC が今後の CITES に関する地域技術協議に ASEAN 加盟国からより多くの参加者を招待することへの支持や、今後は FAO だけでなく他団体の活動にも参加すべき旨の提案があった。

○ SEAFDEC 訓練調査船

- ・ 我が国が供与した 2 隻の訓練調査船の 2022 年の運航実績について報告が行われ、また、2023 年の運航計画について報告が行われ、承認された。
- ・ 我が国からは訓練調査船の最大限の利用を求める旨を述べた。
- ・ 他のメンバー国からは、訓練調査船の意義や調整中の調査計画があることについて発言があった。

○ その他

- ・ 昨年 12 月に開催された第 25 回 ASEAN－SEAFDEC 戦略的パートナーシップ漁業諮問委員会（FCG/ASSP）の結果及び勧告について承認された。また、SEAFDEC に対し、FCG/ASSP メカニズムに基づくプログラムの実施において、今後も ASEAN 事務局との調整・協力を継続するよう要請が行われた。
- ・ ASEAN 地域における漁業の持続的な発展と管理への貢献として日本拠出金に対する謝辞が述べられた。
- ・ 来年の理事会は、フィリピンが主催することとなった。